

地域移行への取り組み

生活支援第一部（おおくら園）では、利用者様の地域移行を推進しており、この度、10月に1名の利用者様が仙台市内のグループホームに入居されました。生まれ育った地域で、ご家族をより身近に感じながら、新しい生活をスタートされています。



職員の変動情報

10月1日より
かりん・あおい
(4係)へ配属
生活支援ワーカー補助
穴戸裕哉

11月1日より
うぐいす・ひばり
(1係)へ配属
生活支援ワーカー
小松雅貴

10月1日より 介護寮へ異動
生活支援ワーカー 中津留遠

おおくら

令和6年度 第2号

【発行】宮城県船形の郷

生活支援第一部（おおくら園）



表紙写真：日帰り旅行の松島にて

なんでも相談

苦情解決責任者

部長 松浦 友美

苦情解決担当者

係長 阿部 瑞穂 菅原 大輔

第三者委員

原 弘弥氏 (022-342-2009)

千葉 良紀氏 (022-345-4147)

当園で提供しております福祉サービスにおいて
ご意見・ご要望・苦情等を受付けております。
お気軽にご相談下さい。

【編集後記】

秋の深まりとともに日脚もだんだんと短くなってまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。おおくら園では季節に合わせた楽しい行事を予定しております。季節の変わり目、くれぐれもご自愛くださいませ。

あれ、日々も、いつの間にか暖房や温かい食事が恋しい季節になりました。
御家族の皆様はいかがお過ごしでしょうか。
冬季になりますと、例年感染症等の広がりが懸念されます。おおくら園では、利用者様の健康管理のため日々の健康チェックや通院の付添い、嘱託医の所内診察、協力医療機関等との連携を図るとともに、各種診察での疾病等の早期発見・早期治療に努めています。
また、今年度から、必要に応じてリハビリ専門職のアドバイスによる身体の機能維持及び介護用具の適切な利用を進めています。
そういった内容は、定期的に皆様に郵送させていただいている「個別支援計画書」に取り入れて、予防ケアの充実を図っています。
このように、健康・医療面等の支援を行いつつも、この広報誌に記載させていただきましたが、バス外出（日帰り旅行）や季節に応じた行事の開催、利用者様の意思に基づいた社会体験外出等を随時行っています。
今回、掲載したものはそのごく一部ですが、いつもよりやや大きめのサイズですので、その表情や雰囲気を感じ取っていただけたら幸いです。
どうぞ、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。
おおくら園職員一同、利用者様一人一人が、何を望み、何を求めているのかその意思をしっかりと受けとめる努力を行ってまいります。

挨拶

副部长

佐藤 憲嗣

発行・編集：宮城県船形の郷おおくら園

発行年月：令和6年11月

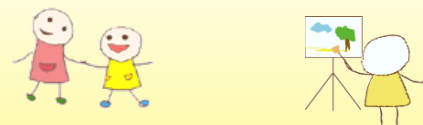
発行責任者：部長 松浦 友美

住所：〒981-3625 宮城県黒川郡大和町吉田字上童子沢21

電話番号：022-345-4340 FAX：022-344-1450

URL：船形の郷 ホームページ <http://www.miyagi-sfk.net/sato>

宮城県社協 ホームページ <http://www.miyagi-sfk.net/>





今年も暑さの厳しい夏となりました。
かき氷や射的遊び、カラオケ大会、
お祭り気分で楽しいひとときとなりました。



納涼会



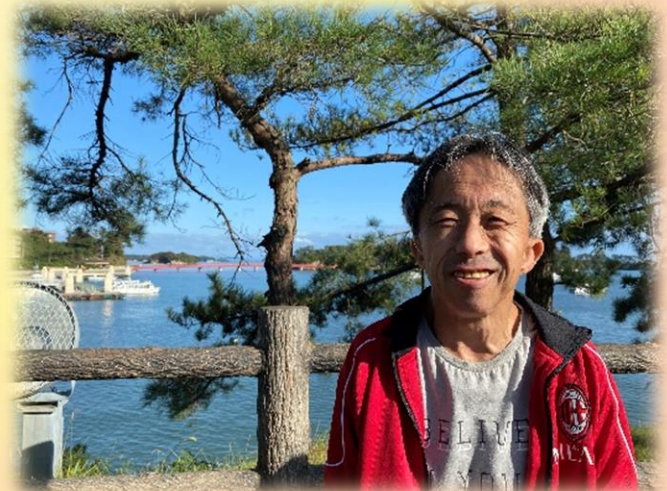
おおくら園では自立生活に向けて様々な
取り組みを行っております。自立訓練室で
調理体験を行い、利用者の皆様で協力して
作ったパンケーキの味に笑顔を見せており
ました。

また、園芸活動としてアサガオの種を蒔いて
毎日の水やりを頑張って取り組んでおります。
今年の夏はアサガオの成長を感じながら沢山の
綺麗な花を眺めることができました。



松島日帰り旅行

日帰り旅行行事として松島観光へ
行ってきました。
日本三景の素敵な景色を眺め、
食欲の秋を満喫しました。



季節に合わせた行事や個別外出等を企画し、
利用者の皆様には憩いの時間を過ごして頂いて
おります。秋はハロウィンパーティーの開催、
八木山ベニーランドの外出等を行い、皆様の
余暇の充実を図っております。

